

広報 むさしの 春(12)

近隣のびん沼川沿いで撮影

開設5年目を迎えて職員の皆さまへ

「職員の皆さん、ご苦労様です。理事長の村田です。」と毎週水曜日の午後、職員との挨拶を交わし、施設の業務執行状況を施設長に確認した後、利用者さんや職員とのふれあいを大切にするため、デイサービスのフロアから特養のフロアを1時間ぐらい掛けて一回りをする、そのような業務を行うこと4年が経過し、改めて月日が経つのは早いものだと感じております。

平成13年12月13日に社会福祉法人ふじみ野福社会が認可され、その後約1年半の準備期間の末、平成15年4月1日に各サービスを開始致しました。開設当初は利用者さんも少なく寂しい様子がありましたが、半年もするとたいへん活気溢れる施設へととなりました。その活気の源を紐解いてみますと、施設内部においては、利用者さんが元気なこと、面会者が多いこと、池田施設長を始め職員がまじめによく働くこと、おかげさまで年々地域の方のボランティアさんが増えていること等があげられます。施設外部においては、施設近隣の地域住民の皆さんをはじめ、富士見市高齢者福祉課、富士見市社会福祉協議会や近隣施設、嘱託医の篠田中央クリニック、入院協力病院のみずほ台病院等の関係機関と相互支援体制が充実してきたこと等があげられます。

平成19年4月1日現在、市の人口は104,809人、人口統計によると平成22年の人口は、105,220人とほぼ横ばい、人口構成は年少人口・生産年齢人口ともに減少傾向にあります。一方、老年人口は増加との見通し、市の高齢化率は国や県より低い状況にありますが、平成22年には、5人に1人が高齢者となることが見込まれています。そのような状況下においては、当法人に期待されることも従前以上と身の引き締まる思いであります。

事業経営の原則でもある事業の継続性を意識しながら、利用者さんのニーズはもとより、地域のニーズに立脚した地域・社会の福祉の充実と発展という社会福祉法人そのものの社会的責任を果たすことが使命と肝に銘じております。

「困ったことがあったら、先ずはむさしのへ相談に行こう！」と古い言葉ですが「地域福祉のかけこみ寺」となれるような法人を目指したく、日々精進してまいりますのでこれからも暖かいご支援、ご指導よろしく願いいたします。

平成19年5月9日

社会福祉法人 ふじみ野福社会
理事長 村田 茂次

デイサービスの行事紹介！

ガンバレ！もうちょっと。
わ～っせ！わ～っせ！

2月ゲーム大会



3月南畑ふるさとまつり



地域の皆様には大変好評でした！

3月野菜の買い物



まあ～なんて美味しいんでしょ…



採れたて新鮮です



クラブ活動

4月お花見(びん沼自然公園)



満開の桜に皆様ご満悦！

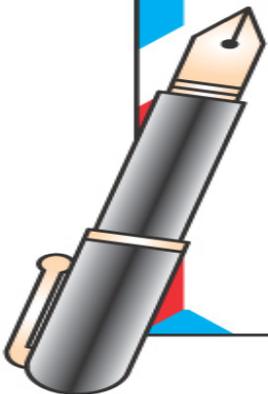
ハーモニカクラブ



豆知識

腸内細菌のお話し

人の腸の中には約100種類100兆の細菌が生息し、これらは善玉菌・悪玉菌に分類されます。善玉菌は酵素やビタミンなどの体に有用な物質を分泌し、反対に悪玉菌は硫化水素などの腐敗物質を作り出します。腸内の悪玉菌の繁殖が進むと有害な物質が血液の流れに乗って体中に運ばれてしまいさまざまな疾病の原因となります。反対に善玉菌が豊富に繁殖すれば血液はきれいになり免疫力のアップにつながります。善玉菌の代表といえば乳酸菌。ただし残念ながら酸に弱い性質を持っているためヨーグルトをたくさん食べても乳酸菌のほとんどが胃酸で死滅してしまいます。またお砂糖は悪玉菌を増殖させるため砂糖の入ったヨーグルトは、実は逆効果になりかねません。最近、ヨーグルトドリンクでも乳酸菌をカプセルコーティングしてあるものもでてきました。ちょっと口当たりが不思議な感じがしますが同じヨーグルトドリンクを飲むなら、しっかり腸まで届く工夫が大切です。



行事紹介

～節分行事の風景～



いててて…皆さんの
投げる豆は勢いがあつ
て鬼もたじたじです！！



鬼と一緒にハイ！
チーズ！！

皆様に今年も福がた
くさん入ってきますよう
に…。



～ひなまつりの風景～



わしも御内裏様には負けん
ぐらい色男じゃわい！わっはっ
は…



わたしもお雛様
に負けないうらい
綺麗でしょ！！



皆様、昔を思い出し楽
しまれていました！！



おいしくて笑
いが止まらない
様子です。

～花見行事の風景～



おいしかったです。
伝わるかな。
エイっつ！！

施設の中庭で恒例の花見
行事を行いました。当日
はポカポカ陽気で絶好の花
見日和でした。



一人の人間が独立して生活する為に行う基本的でかつ各人が共通して毎日繰り返す一連の身体動作のことをいう。具体的には、食事・排泄・入浴・車椅子の動作・歩行・階段の昇降などの身体の動作のみならず、精神活動やコミュニケーション能力までもを含み、それを日常生活動作(ADL)といいます。医療・介護の現場では個人のADLが様々な評価によって判断されリハビリテーションや運動療法・日常生活を送る上で必要な介助方法を進めるための必須情報となっています。

○職員紹介○

毎日6キロ先から自転車で通っています。高校を卒業したばかりで、知らない事ばかりですが宜しくお願い致します。休日は家族とキャンプカーで旅を楽しんでいます。



生活課: 村上 竜也

4月から2階でお世話になっています。これから宜しくお願い致します。ファミレス大好きで長時間居座っては(5・6時間は余裕ですねハッハッハッ)友達と語り合っていて楽しんでいます。



生活課: 植田 恭代

マイペースで少し天然の所がありますが何事も最後までやり通す真面目な一面も持っています。仕事に逸早く慣れるよう頑張ります。



生活課: 齋藤 香織

初めまして。新しくむさしので働かせて頂くことになりました岩澤です。精一杯頑張っていくと思っておりますので宜しくお願い致します。



生活課: 岩澤 拓郎

3月からデイサービスに入職しました。趣味はカード作りと映画鑑賞です。ちょっぴり間のぬけたところがありますが宜しくお願い致します。



地域課: 大嶋 敬江

私のモットーは「前進あるのみ」と思っているのですが、時としてのしのように突進したり、亀のように自分の殻に閉じこもったり後悔の日々。せめて牛歩でもよいので前に進もうと思っています。



地域課: 木村 久美子

福祉の業界に事務で携わって数年になります。パソコンに関しては、ハード面、ソフト面共に詳しいので何かあったら聞いてきてください。趣味はドライブ、映画鑑賞、コンサート観賞などです。



管理課: 三浦 亮司

食事は美味しく・楽しくをモットーにしています。入所者の皆様に喜んで食べて頂けるように、食事作り、献立作成に日々励んでいます。



栄養課: 寺島 和幸



感謝

日本財団様の助成金により送迎車を1台購入致しました。様々な場面で活用して参ります。日本財団様に心から御礼申し上げます。

発行人
 社会福祉法人ふじみ野福祉会
 ・ 特別養護老人ホーム
 ・ ショートステイ
 ・ デイサービスセンター
 ・ ヘルパーステーション
 ・ 支援センター
 ・ 広報委員会
 施設長 池田 英雄

編集後記
 今年は冬らしい冬も来ずあつという間に春がきた感じです。世界各地では異常気象がみられ日本でも能登半島地震があり防災の意識をより身近に感じていかなければと思う今日この頃です。私たちが住む関東地方は比較的災害が少ない地域ですが「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉もあります。日頃からの備えが大切ですね。

今回は19年7月末発行予定です。お楽しみに！！
 〒354-0003
 埼玉県富士見市大字南畑新田16-1
 TEL049-255-6102
 FAX049-255-6601
 発行日平成19年5月10日